



[医療法人溪仁会 西円山病院 広報誌]

にしまるやま通信

NISHIMARUYAMA TSUSHIN NISHIMARUYAMA TSUSHIN NISHIMARUYAMA TSUSHIN



NO.48 2007年
11、12月号



紅葉バスツアー

今年も患者様・ご家族と一緒に、恒例の紅葉バスツアーに出かけました。今年は例年に比べると紅葉が遅く色づいた木々は少なかったのですが、天候にも恵まれ、3日間で大型バス50名、リフト車15名の患者様が参加されました。

リフト車では初めて中島公園に出かけ、豊平館や風情ある日本庭園などを懐かしむ姿が見られました。患者様の中には6年ぶりに外出された方もおり、ボランティアの方々や私たち職員にとっても、素敵な思い出になった3日間でした。

- 紅葉バスツアー
- ロビーコンサート
- ご紹介
- ウォームビズしていますか？
- 回復期リハビリテーション
- にここココラム
- 病棟について
- 編集後記

** 西円山病院 外来のご案内 **

■診療科目	内科・循環器科・リハビリテーション科・神経内科・歯科
■診 療	午前9:00～12:00 午後2:00～4:00
■休 診	土曜日・日曜日・祝日

紹介します。

西円山回復期リハビリテーション病棟

回復期リハ病棟とは どんなところですか？

回復期リハビリテーション病棟とは、けがや病気の治療が終了したあとに、日常生活動作の自立と社会復帰をめざした専門のリハビリテーションをうけることができる病棟です。

入院の対象となるのは どんな病気ですか？

脳や脊髄の疾患、体幹下肢の骨折、手術後などの廃用症候群、体幹下肢の損傷が対象となります。けがや病気によって、入院までの期間や入院期間が決められています。



【回復期リハの対象疾患】

対象疾患	入院までの期間	入院期間
脳や脊髄の疾患	発症あるいは手術後2ヶ月以内	150日以内 (重症の脳血管障害、頸髄損傷、頭部外傷は180日)
体幹下肢の骨折		90日
廃用症候群		90日
体幹下肢の損傷	発症あるいは手術後1ヶ月以内	60日

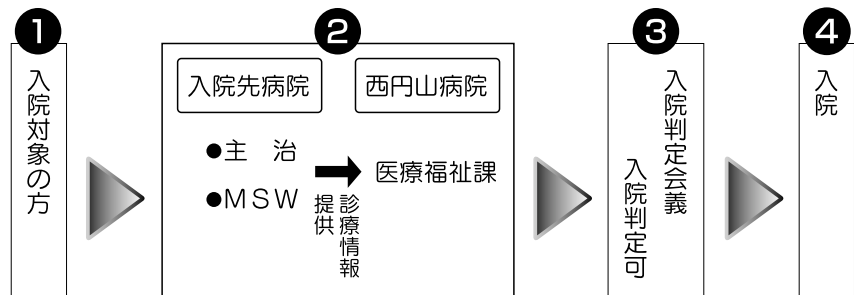
西円山病院回復期リハ病棟 の特徴を教えてください。

北海道で最も歴史のある回復期病棟(48床)で、質の高いリハサービスを提供しています。

【西円山病院の特徴】

- 365日、毎日欠かさずリハサービスを提供しています。
- 医師3名(リハ専門医2名、循環器内科医1名)、理学療法士6名、作業療法士5名、言語療法士3名、社会福祉士3名、管理栄養士1名の充実した体制をとっています。
- 日常生活動作の自立や社会復帰はもちろん、さまざまな療養生活にむけての援助をさせていただきます。

入院までの手続き



※MSW：medical social worker(医療ソーシャルワーカー)

ロビーコンサート

ふるさと民謡コンサート



10月5日に当院の東棟4階外来ロビー前で「ふるさと民謡コンサート」を行いました。

播磨孝雄さんに江差追分を演奏して頂きました。なんと追分歴は30年以上の大ベテランで、全国大会では常に優勝候補に挙げられる実力者。そんなすばらしい方が演奏する江差追分に、患者様ご家族、そして職員も聴き入ってしまいました。

アンサンブル・ユナイト



11月4日に恒例のロビーコンサートを行いました。今月は、吹奏楽演奏「アンサンブル・ユナイト」でした。曲は、365歩のマーチ・ふるさとや水戸黄門など皆さんがよく知っている曲ばかりで、会場はとても盛り上がりました。また、一つずつ楽器を紹介する際にそれぞれ演奏して頂き、演奏する楽器の魅力も味わうことができました。

ウォームビズしていますか？

北海道に住む私達は、子供の頃から冬は室内を暖かくして過ごし、それが習慣性となっていることが多いようです。平たく言えば、過剰暖房で「冬は、シャツ1枚で…」という家庭も少なくは無いということ。さて、今回は「ウォームビズ」がテーマですが、これは、環境省が地球温暖化防止のため、暖房時のオフィスの室温を20℃にすることを呼びかけ「過度に暖房機器に頼らない」そんな原点に立ち返るものです。(ちなみに、今私の事務所の温度を見ると27℃でした)灯油も高騰している中、ビジネススタイルも家庭も「寒ければ一枚着る」を実践してみませんか？

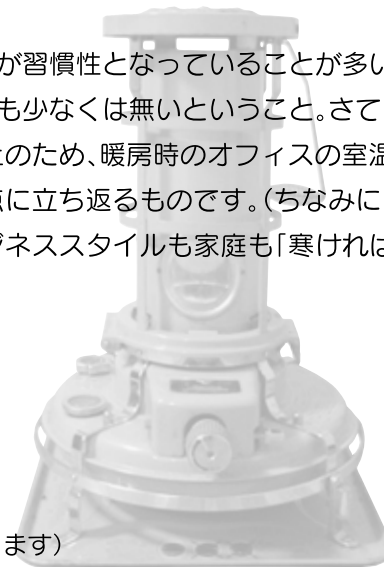
参考) 家庭の暖房設定温度を1℃下げると…

灯油 約130リットルの節約(一世帯で一年間)

灯油代 約11,000円の節約

CO2 88Kg—CO2の削減

※道内の全世帯で取り組むと、21万t—Cの削減(本道の排出量の1%になります)



にこにこ コラム



10月21日に西円山病院内で第21回ボランティアグループ銀の舟主催のバザーを行いました。開催前には、大型スーパーや100円ショップ、インターネット等の影響で何を買うにも便利になった分、バザーやリサイクル品販売などの需要が減少してきているのでは？と心配しておりました。しかし、いざバザーが始まると、たくさんの患者様とご家族、地域の方々にお越し頂き、楽しそうに商品を選んでいる姿を見ることができました。今の時代だからこそ、20年前からスタイルを変えずに行っているバザーが新鮮に感じられるのでしょうか？

編集後記

早12月、今年もそろそろ終わりを迎えようとしています。みなさん、今年はいかがでしたか？毎年思うことですが、1年というのはあっという間ですね。深刻なニュースが多く放映されていましたが、同時に北海道のスポーツ界では昨年にかけて野球、そしてバスケ、サッカーと賑わいましたね。来年もこの調子で北海道が盛り上がったらいいですね！(Y・I)

すべての
お問い合わせは

郵便

〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
西円山病院 医療福祉課内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい!

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

● 無料送迎バスのご案内 ●

(平成19年8月)

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時
地下鉄駅発	55	35	15	10 50	30	10	30		*00 *40	*45	*15 *45	*15 *45	*30	*35
西円山病院発		15 55	50	30	10 50		10	40	20	30	00 30	00 30	05 45	25

※のバスは地下鉄円山公園駅⑤番出口発、その他はすべて①番出口となります。